



ジャムのミナレットと考古遺跡群

危機遺産

ゴール朝のスルターン、ギヤースッディーン・ムハンマド（在位：1163年 - 1202年）が築いた。



八角形の土台の上に60mの高さを持ち、褐色の煉瓦と、青色のタイル装飾、幾何学模様、クーフィー体アラビア文字の刻印などが特徴。このミナレットはゴール朝の最盛期であり、滅亡寸前でもあった12世紀末頃に建てられており、ゴール朝における建築技術の最高峰とも言われる。

ゴール朝の滅亡以降忘れ去られていたが、1957年8月18日に発見された。

政変や内戦などにより遺跡の破壊が進み、またハリー・ルード川によるミナレット土台の浸透浸水の問題や、道路建設などの開発計画もあり、2002年世界遺産登録と同時に危機遺産にも登録された。

バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群

危機遺産

古代から存続する都市バーミヤンの近郊には、1世紀からバクトリアによって石窟仏教寺院が開削され始めた。石窟の数は1000以上にもものぼり、グレコ・バクトリア様式の流れを汲む仏教美術の優れた遺産である。

5世紀から6世紀頃には高さ55m（西大仏）と38m（東大仏）の2体の大仏をはじめとする多くの巨大な仏像が彫られ、石窟内にはグプタ朝のインド美術やサーサーン朝のペルシア美術の影響を受けた壁画が描かれた。

バーミヤンの仏教文化は繁栄をきわめ、630年に唐の仏僧玄奘がこの地を訪れたときにも依然として大仏は美しく装飾されて金色に光り輝き、僧院には数千人の僧が居住していたという。

その後、イスラム勢力がこの地にも及ぶようになり、11世紀初頭にこの地を征服したガズナ朝によって石窟寺院遺跡が略奪を受けたとも言われる。大仏も装飾が剥がれ、顔面部が崩落するなど長年にわたる放置のために大きな被害を受けたが破壊はまぬがれ、偶像崇拜を否定するイスラムの時代を通じても依然として多くの壁画が残されていた。

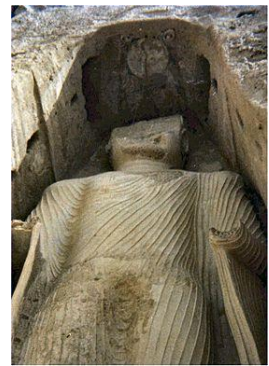
19世紀以降、バーミヤン遺跡は大仏を始め多くの仏教美術が残されていたことから注目を集めることとなり、一躍アフガニスタンの誇る世界的な文化遺産とみなされるに至る。

しかし、1979年の旧ソ連のアフガニスタン侵攻以来アフガニスタンで続いてきたアフガン紛争によって大きな被害を受けた。

2001年には当時のアフガニスタンのタリバーン政権により爆破され、遺跡は壊滅的な被害を受けた。



2003年世界遺産登録と同時に危機遺産にも登録された。



写真提供：東京文化財研究所

暫定リスト

バルフ

ホワジャ・アブ・ナスル・パルサ寺院
(緑のモスク)

古代より交易路の要所として発展し、**バクトリア王国の都バクトラ**

アフガニスタン北部のバルフ川の下流、マザーリシャリーフの西18kmに位置する街。

街の中心にはホワジャ・アブ・ナスル・パルサ寺院（緑のモスク）があり、直径約600mの環状の街区がある。1920年代の地図によると街の東側は旧市街で隊商の宿があり、西側は新市街、南側にはバザールやユダヤ人街があったという。そこから東・西・南（インド古道）・西南・東南の5方向に放射状の幹線が延びている。街の北部には巨大な丘があり、所々に城壁が残っている。中心部を抜けると田畑が広がる農業が盛んな地域である。

街の歴史は非常に古いが戦乱による被害のため遺跡の保存状態が悪く、廃墟になっているものが多い。



【構成遺産】

- ・サイード・スーバン・クリハーンのマドラサ
- ・城壁廃墟 - 街の北側に巨大な丘がある。
- ・**ホワジャ・アブ・ナスル・パルサ寺院** … 「緑のモスク」
- ・ラヒバ・バルヒの墓
- ・**ノ・グムバード・モスク**（ノフ・ゴンバド、ハジ・ピヤタ）… 9世紀に建てられたアフガニスタン最古のモスクの1つであり、名前の由来は9つのドームを持つモスクという意味である。現在は柱だけが残っている。

◆街の内外の仏教遺跡

- ・タフト・イ・ルスタム… 南門の外にある。大唐西域記に記されている「納縛僧伽藍」という説がある。
- ・トープ・イ・ルスタム… ルスタムの円塔という意味。大唐西域記に記されている納縛僧伽藍の仏塔（窣塔婆）という説がある。発掘調査によると、四方に階段のある二重の方形基壇の上に円筒基壇があり、その上に伏鉢があったと思われる。
- ・テペ・ザルガラ… 街の東側の旧市街地の中にある仏教伽藍址。
- ・チャルキ・ファラク… 東門の外にある遺跡。仏塔の可能性はある。

ヘラート

アフガニスタン北西部からイラン北東部、トルクメニスタン南部にまたがったホラーサーン地方の東部に位置し、中央アジアとインド亜大陸、西アジアを結ぶ重要な交易路上にあって古来より栄え「**ホラーサーンの真珠**」とその繁栄を謳われた。

ヘラートが文字上の記録に現れるのはきわめて古く、紀元前5世紀に**アケメネス朝**のダレイオス1世がペルセポリスに残した碑文に既に、**ハライヴァ**という名前であられる。ハライヴァは、現在のヘラートを中心とするオアシス都市国家を形成していた。



ヘラート城

金曜モスク



8世紀の**アッバース朝**のもとではイスラム教を受容したイラン系の原住民が都市の主導的な役割を再び握るようになり、東方イスラム世界を代表する貿易都市のひとつとして栄えた。

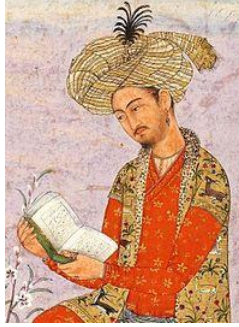
アッバース朝が衰え中央アジアでイスラム諸王朝の興亡が激しくなるとヘラートの支配者もめまぐるしく交代した。しかし、12世紀の後半に**ゴール朝**がヘラートを奪取。ヘラートは事実上の首都となり、金曜モスクを建立するなど、ヘラートの繁栄は頂点に達した。

15世紀には**ティムール朝**の首都となり、その支配のもとでヘラートは東方イスラム世界の文化的な発展の頂点に立った。

暫定リスト

バーブル・バーク

ムガル帝国の初代皇帝バーブルはカーブルに10のバーク（庭園）を建設し、宮殿の役割を果たす天幕を庭園に設置していた。



1530年12月26日にバーブルはアーグラで没し、遺体はヤムナー河岸のラーム・バーク庭園に埋葬された。
後にスール朝のシェール・シャーによって遺体はカーブルに移された。
1607年にカーブルを訪れたバーブルの曾孫ジャハーンギールは、バーブルが葬られている庭園に石碑を建立した。
生前の希望に従って墓石を囲む廟は建てられなかったが、後年に簡素な屋根付の建物が墓石の上に置かれた。



カーブルの庭園に建てられた
バーブルの廟

バンディアミール湖

バーミヤン州の標高約3000mの山岳地帯にある6つの湖のからなる湖群地帯の総称。ただし、そのうちの1つは既に枯れており、現在は5つの湖が残っている。

その青さと透明度から「砂漠の真珠」と呼ばれている。
湖周辺の一帯は、アフガニスタン初の国立公園として、保護する体制が徐々に整備されつつある。



アフガニスタンのほぼ中央に位置するバーミヤンから西へ80キロの場所に位置する。



アフガニスタンの自然



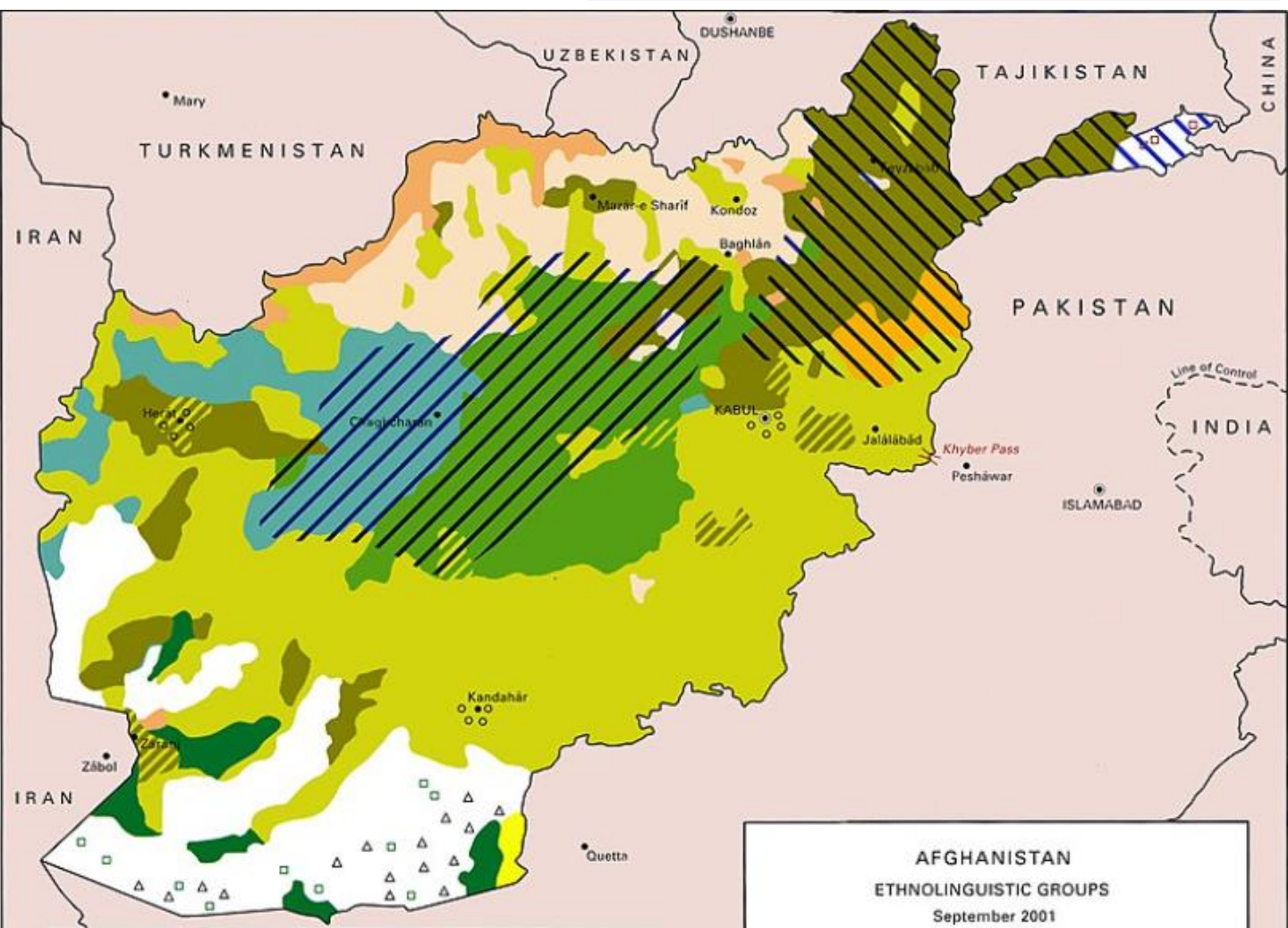
国土面積は日本の1.7倍、北緯29度から38度までで、日本の本州より少し南にあたる。北東から南西にかけていくつもの山脈が走っており、ヒンドゥー・クシ山脈と総称される。北東に高く、南西に向かって低くなる。最高峰はノシャーフ山（7470メートル）である。この山脈の北側はアフガン・トルキスタンとよばれ、標高数百メートルの平地をなし、気候温和で農業に適している。主要河川はいずれもヒンドゥー・クシ山脈に源を発する。山脈以北では、オクサス川（アムダリヤ）がパミール高原に源を発し、上流部がタジキスタンとの国境をなしアラル海に注ぐ。またムルガープ川が北流して、トルクメニスタンに入る。山脈の南側では、カブール川が東流してパキスタンに入ってインダス川に注ぐ。またヘルマンド川が南西に流れ、イランとの国境付近の湖に流れ込む。ハリー・ルード川はヘラート平野を灌漑(かんがい)し、その一部がイランとの国境をなす。

気候は地域、とくに標高によって差異があるが、一般に乾燥気候で夏乾冬雨である。
首都カブール（北緯34度33分、標高1766メートル）では、平均最高気温は7月で24.4℃、最低は1月で零下2.8℃、平均湿度の最高は1月の73%、最低は6～7月の38%である。年降水量は約340ミリメートルで、その7割が1～4月に降り、7～9月にはほとんど降雨がない。
この国でもっとも気温の高いのは南西部で、夏季の最高はつねに40℃を超え、乾燥した無人の荒野となっている。**ヘラート地方**では「120日風」とよばれる北風が夏に吹く。
南東部山地にはインド洋のモンスーンが及び、夏雨冬乾で、年降水量は500ミリメートルを超え、森林を育てている。**南部の都市カンダハール**（北緯31度30分、標高1010メートル）の平均最高気温は7月で32.1℃、最低は1月で5.5℃、平均湿度の最高は2月の59%、最低は6月の23%、年降水量は198.1ミリメートルである。

アフガニスタンの民族

民族構成（アフガニスタン）

パシュトゥーン人		45%
タジク人		32%
ハザーラ人		12%
ウズベク人		9%
その他		2%



Iranian

-   Baloch
-  Aimak
-  Haraza
-  Pashtun
Durani, Ghilzai
-  Qizilbach
-  Tajik

Turkic

-  Kirghiz
-  Turkmen
-  Uzbek

Other

-   Brahui
-  Nuristani
-  Sparsely populated or uninhabited